



アルケア株式会社

高度なデータ分析を支える連携プラットフォームを内製化!

kintone、Salesforceなど多様なSaaSとの迅速かつ、柔軟に連携できる環境を実現

アルケアは、整形外科領域、褥瘡・創傷領域、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)領域、看護領域に向けた各種ケア製品など、医療用消耗材料の開発・製造・販売を行うメーカー。同社では、基幹システムで保持する営業関連情報を、営業分析用の情報系システムへと連携する際に要していた手間や人的ミス発生リスクが課題に。さらに、現場から各製品に関するデータ分析の要望に対し個別に対応するなど、工数が増大していた。そこで「ASTERIA Warp」を導入し、連携処理を自動化。今後想定されるSaaSなど外部サービスを含む多様なシステム間の柔軟な連携の実現を見据えて、データ連携プラットフォームを構築した。その結果、現在では基幹システムだけでなく、営業活動記録を管理しているkintoneと情報系システムとの連携が自動化されるなど、頻繁に発生するデータ連携ニーズに対しても、内製開発でスピーディに対応できる環境を実現した。

導入背景

- 基幹システム側で保持している営業関連データを情報系システムへ連携する際に、CSV形式でのデータ抽出やインポートを手作業で行っており、多大な工数と時間を要していた
- 人手に依存した作業ではミスが避けられず、データの品質についての懸念があった
- 外部サービスの積極的活用を念頭に、SaaSとの連携ニーズに柔軟に対応できるデータ連携プラットフォームの構築が望まれていた

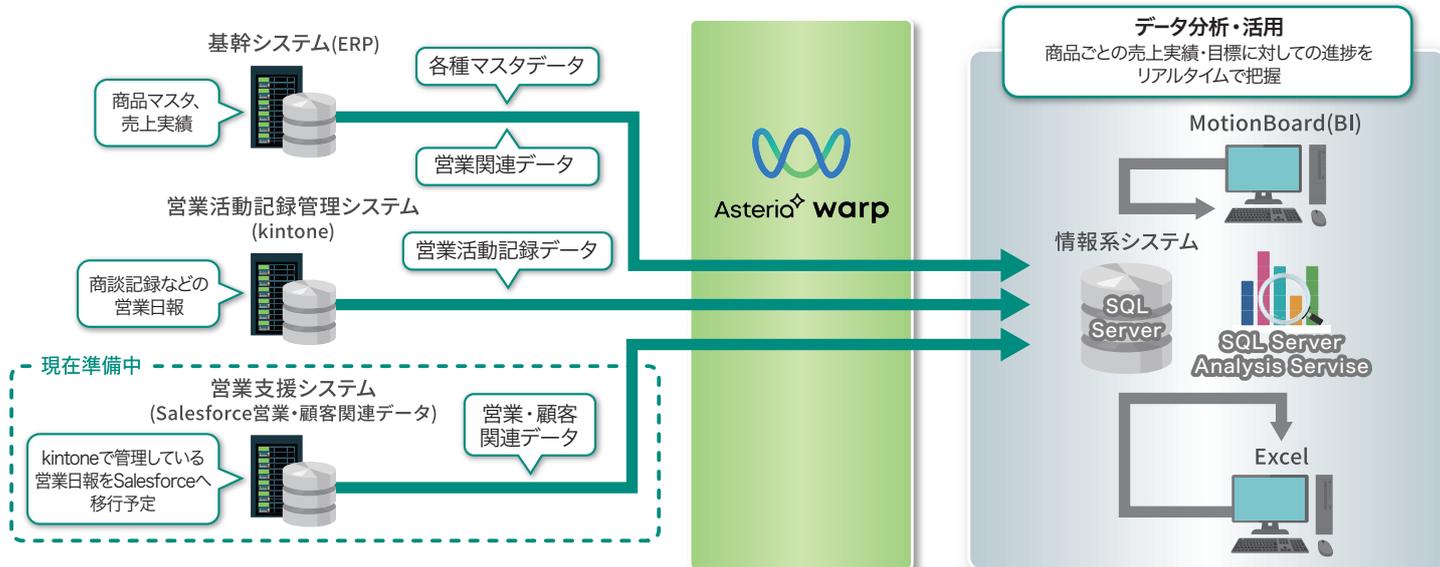
選定ポイント

- ノーコードによる直感的な開発が可能のため、教育コストも不要。連携処理開発の大幅な工数削減が期待できた
- 専門的な知識がなくても、開発に関する汎用的なノウハウに基づいて、あらゆるシステム連携ニーズに応える連携処理を柔軟、かつスピーディに実装可能
- 異常発生時の例外処理を含め、データのステータス等による条件分岐などのロジックを容易に組み込める

効果

- システム連携に要していた日次で1時間程度の人手による入力作業がゼロに。結果、年間240時間の業務を削減
- 開発には3名の担当者が携わり、これまでに約100本の連携処理を実装。開発の容易さから、必要な処理はすべて内製可能な体制が整った
- クラウドサービスの活用推進など、新規システムの導入にあたり、そこで生じる連携ニーズに俊敏に対応できるデータ連携プラットフォームを実現

システム概要



ユーザーの一言



当社は近年、kintoneなどクラウドサービスを活用したシステムの整備を、積極的に進めている状況です。そうした中で、各システムのデータ活用がDX推進の根幹をなすものと捉えており、情報系システムに多様な情報を集約して、データ分析の実践を継続的に強化しています。以前は、個別に対応していたデータ分析の要望にも、柔軟に応えられるようになり、商品ごとの売上実績や目標に対しての進捗など今後の営業活動に関する情報を効果的に活用することができています。ASTERIA Warpは当社システムにおいて、今後ますます重要な役割を担ってくれるものと期待しています。

情報システム部 システム課 櫻井 敦 様

User Profile



所在地：東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19F

会社概要：医療機器、医療用消耗材料の開発、製造、販売を通じて、医療現場のケアをめぐるニーズに応える

業種：製造業

URL：https://www.alcare.co.jp/